

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 1

水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 1

魅力と個性にあふれ、利便性が高く賑わいと活力あるまちをつくります

11 住み続けられるまちづくりを



1 蒲田駅周辺のまちづくり みらい

蒲田駅周辺地区グランドデザインに基づき、JR・東急蒲田駅を中心とする地区の公共基盤の再整備や、周辺街区の建物更新の促進など、蒲田駅周辺の一体的なまちづくりを進めます。また、グランドデザインの改定を踏まえ、公共基盤の再整備に関する手順や整備条件を示す「蒲田駅周辺再編プロジェクト」の改定に向けた検討を進めます。

決 算 額	623,563,601 円	執 行 率	80.64%
主要施策の成果（令和4年度の実施内容）			
<p>【蒲田駅周辺再編プロジェクトの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○改定蒲田駅周辺地区グランドデザインのパンフレットを作成し、周知を進めました。 ○蒲田駅周辺地区基盤整備方針の策定に向け、パブリックコメント、区民説明会を実施し、蒲田駅周辺地区基盤整備方針を策定しました。 ○蒲田駅まちマネジメント検討部会を10/25に開催し、関係機関と調整を進めました。 ○（仮称）蒲田駅東口地下自転車駐車場工事積算発注補助委託及び広場部予備修正設計委託を実施しました。 ○（仮称）蒲田駅東口地下自転車駐車場支障物撤去工事が完了（2月）しました。 			
<p>【駅周辺街区のまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○蒲田五丁目の15・16・17番街区の駅前地区及び19・20番街区の中央地区の準備組合が行なった事業化検討に対して支援しました。 			
所管部	まちづくり推進部、鉄道・都市づくり部、都市基盤整備部		



2 大森駅周辺のまちづくり みらい

中心拠点の一つである大森駅周辺の都市機能更新・強化を図るとともに、まちの魅力を向上させるため、補助28号線（池上通り）の拡幅をはじめとする、都市基盤施設整備実現に向けた取組を進めます。また、臨海部への玄関口に必要な機能の検討を深めるとともに、地域住民等との合意形成を図ります。

決 算 額	81,933,300 円	執 行 率	80.74%
主要施策の成果（令和4年度の取組内容）			
<p>【駅西側周辺のまちづくり】</p> <p>○5月・7月・9月・11月・2月に計5回実施された、大森八景坂地区まちづくり協議会推進委員会について開催支援を行いました。また、推進委員会において大森八景坂地区のブランド化や景観重点地区指定範囲等について協議を行いました。</p> <p>○大森駅西口広場について、補助28号線の整備主体である東京都と共に事業概要及び測量説明会を書面にて開催し、測量予定範囲の住民へのポスティング（1,304通）、土地・建物の所有者への郵送（427通）を行うとともに、区HP・区YouTube・区設掲示板・区報にて周知を行い、9月末より現況用地測量を開始しました。加えて、東京都と締結している3ヵ年協定に基づき受託した設計・調査業務を引き続き実施するなど、今後の事業認可取得に向け、関係機関との連携強化を図りました。</p> <p>○補助28号線（池上通り）周辺の建替えについて、現地踏査や建築審査課・大森八景坂まちづくり協議会メンバーからの情報提供にて動向を把握しました。</p>			
<p>【駅周辺の活性化】</p> <p>○大森駅東口駅前広場等再編整備構想を踏まえて、大森東側の官民連携まちづくりを進めるための基礎調査を行いました。</p> <p>○平和島駅周辺の歩行者環境改善のため、関係機関（交通事業者等）との協議を行いました。</p>			
所管部	鉄道・都市づくり部、都市基盤整備部		



3 身近な地域の魅力づくり みらい

地域拠点である私鉄主要駅周辺において、歴史・文化・産業などの地域の特性を活かした魅力あるまちづくりを進めます。京急蒲田駅西口周辺では、センターエリアにおいて進められている共同化事業を支援します。池上駅周辺地区では、区が策定した「池上地区まちづくりグランドデザイン」に基づき、まちの魅力と機能向上を図ります。洗足池駅周辺地区では、駅、洗足池公園を中心としたまちづくりを推進します。下丸子駅周辺地区では、法指定を受けた下丸子1号、2号踏切の対策と合わせた駅周辺のまちづくりに向けた検討を行います。

決算額	179,957,312 円	執行率	91.07%
主要施策の成果（令和4年度取組内容）			
<p>【地域拠点駅周辺のまちづくり】</p> <p>○大岡山駅周辺地区</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区画街路第1号線の取得用地と民有地との境界確定を完了しました。 ・区画街路第1号線その3区間道路整備工事を完了しました。 ・区画街路第1号線北側区道道路整備工事に着手しました。 ・電線共同溝（その2区間）（引込管・連系管）の東京電力委託分の整備が完了しました。また、NTT委託分の整備に着手しました。 <p>○池上駅周辺地区</p> <p>補助第43号線の整備に向け、東急池上線との交差方式について、比較検討を行うとともに、五差路となっている池上駅交差点の安全性及び機能性の向上に向け、課題を整理し、対応策の比較検討を行いました。</p> <p>池上駅及び池上本門寺を中心とした門前町としての情緒を活かした景観まちづくりを推進するため、まちづくり協議会と連携し、景観に関するルールの実現手法の検討に向けて課題の整理を行いました。</p> <p>○洗足池駅周辺地区</p> <p>洗足池駅周辺の都市基盤施設整備の検討（現況調査、関連計画等における同地区の位置付けの確認、検討課題の整理、必要な要素・機能の検討）を行いました。</p> <p>○下丸子駅周辺地区</p> <p>下丸子駅周辺地区のまちの将来を考える会（勉強会）を計5回開催し、「下丸子駅周辺地区まちづくり構想（素案）」をとりまとめました。その後、区民公募手続（パブリックコメント）を行い、区民の意見を反映させた「下丸子駅周辺地区まちづくり構想」を令和5年3月に策定しました。</p>			
<p>【京急蒲田駅西口、雑色駅周辺地区のまちづくり】</p> <p>○京急蒲田西口地区まちづくり研究会の活動を支援するとともに、共同建替の推進を図るため、センターエリアで検討されている街区別の共同建替事業について、関係機関や関係部局と協議を行うなど側面から支援しました。</p>			
所管部	まちづくり推進部、鉄道・都市づくり部、都市基盤整備部		



4 20年後の未来を見据えたまちづくり基本方針の検討

平成23年(2011年)に改定した都市計画法第18条の2の規定に基づく大田区都市計画マスタープラン(都市計画に関する基本的な方針)について、区の内外を取り巻く情勢の変化などを踏まえて、具体性ある将来ビジョンを確立し、まちづくりを推進するため、改定に向けた検討を進めます。また、改定後は区民等への普及啓発に加え、地域都市づくりの推進や適切な進捗管理を行います。

決 算 額	7,463,940 円	執 行 率	77.06%
主要施策の成果（令和4年度の実施内容）			
<p>【大田区都市計画マスタープランの改定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○改定都市計画マスタープランについて、本編及び概要版を印刷(各700部)し、庁内、区立図書館、国会図書館、他自治体、関係者等の関係各所へ配布しました。 ○区民の都市づくりへの理解や関心を高めるため、区民にとって身近な内容の掲載や、写真やイラストを多く用いるなどの工夫を凝らした普及版を作成し、自治会・町会への配付・説明を行うとともに、特別出張所や区政情報コーナーでの配布、区ホームページでの周知を行いました。 			
<p>【大田区都市計画マスタープランの推進】 みらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和5年度に事前復興活動を実施する候補地区(羽田1~6丁目)を選定し、訓練プログラム(案)を作成しました。 ○ハザードマップや地域危険度などを踏まえて、令和6年度以降の事前復興活動の対象地区の検討を進めました。 ○改定都市計画マスタープランの進行管理手法の検討や、指標の選定を行いました。 			
所管部	まちづくり推進部		



5 新空港線の整備推進 みらい

国際化した羽田空港へのアクセス機能の強化は、区内の移動の利便性を向上させるとともに、人々の国内外への往来をさらに快適なものにします。JR・東急蒲田駅と京急蒲田駅を結ぶ新空港線の整備を、事業着手に向けて推進します。

決算額	182,473,763 円	執行率	99.65%
主要施策の成果（令和4年度の実施内容）			
<p>【関係者との協議及び事業推進】</p> <p>○6/3に第5回「新空港線及び沿線まちづくり等の促進に関する協議の場」を開催し、都市鉄道利便増進事業における地方負担分の都区費用負担割合等について、6/6付けで東京都と合意しました。</p> <p>○第三セクター設立に向けて、9/20付けで東急電鉄株式会社と協定を締結し、10/14に整備主体となる第三セクター「羽田エアポートライン株式会社」を設立しました。</p> <p>○12/21に新空港線「蒲蒲線」整備促進区民協議会を開催し、これまでの活動報告や講演等とともに、議会で可決頂いた「鉄道と魅力的なまちづくり宣言」をあわせて行いました。</p> <p>○都市鉄道等利便増進法において鉄道事業者としてみなされる許可の取得に向けて、国交省鉄道局との協議を行うなど、羽田エアポートライン株式会社の支援を行いました。</p>			
所管部	鉄道・都市づくり部		

6 都市計画道路の整備 みらい



主要幹線道路間の円滑化を図り、安全で快適な歩行者空間を確保するため、街路整備を推進します。

決算額	522,048,770 円	執行率	47.43%
主要施策の成果（令和4年度の実施内容）			
<p>【補助第44号線（上池台）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○電線共同溝（第Ⅳ期）の入線・抜柱が完了しました。 ○道路整備工事設計委託（第Ⅳ期）を実施しました。 ○用地取得 第Ⅴ期区間の計画的な用地取得に向けて、物件調査、補償算定等段階を踏んで折衝を継続しています。 （契約実績1画地） 			
<p>【補助第43号線（仲池上）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○企業者支障移設工事（第Ⅰ期）として、下水道、水道工事を実施しました。 ○電線共同溝設計委託（第Ⅰ期）を実施しました。 ○用地取得 第Ⅰ期区間では、事業収束へ向けて折衝強化するとともに、収用制度の活用を視野に関係部署と協議を進めています。第Ⅱ期区間では、事業認可を受け用地補償説明会を個別方式で実施し、地権者の意向を踏まえ着実に折衝を進めています。 			
<p>【補助第38号線（羽田旭町・東糀谷）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道路整備工事（東糀谷）を実施しました。 ○道路詳細設計（羽田旭町）を実施しました。 ○用地取得 事業全体の工程を踏まえた期限について相手方と共通認識を図り、収束へ向けた最終調整を進めています。 			
<p>【補助第27号線（大森北）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道路詳細設計に向けて、交通管理者（警視庁）と協議が完了しました。 ○企業者支障移設工事（ガス、水道、東京電力、NTT工事）が完了しました。 ○電線共同溝設計（既存ストック協定）の発注準備を実施しました。 			
<p>【補助第34号線（大森西）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○用地測量、道路予備設計を実施しました。 			
所管部	まちづくり推進部、都市基盤整備部		



7 自転車等利用総合対策の推進

「大田区自転車等総合計画」を推進し、自転車等駐車場や自転車走行環境を整備します。また、単なる移動手段にとどまらず、健康づくりや観光スポット巡り等における自転車の活用について、関係機関と連携しながら推進していきます。

決 算 額	156,250,543 円	執 行 率	95.24%
主要施策の成果（令和4年度の実施内容）			
<p>【放置自転車対策の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自転車等駐車場施設更新及び増設を検討（蒲田駅西口、蒲田駅西口御園、蒲田五丁目44番）しました。 ○駅前放置自転車クリーンキャンペーンとして、区設掲示板でのポスター掲示、都市基盤管理課及び特別出張所窓口への啓発品の配置等を実施しました。 			
<p>【自転車走行環境の整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自転車走行環境31.2kmの整備を完了しました。 ○自転車走行環境の利用啓発を行いました。 			
<p>【コミュニティサイクル事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○区内全域その他にサイクルポートを設置（17か所）しました。 ○リーフレットを区内観光施設等に配布し、事業周知を行いました。 ○広域相互利用参加区と定例会議（3回）を行い、情報共有を図りました。 			
<p>【自転車等駐車場の利用者サービスの向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定期利用募集（抽選）Web申込の導入実績検証を行いました。 ○結果通知の電子化導入に向けて、内部調整を実施しました。 			
<p>【活用推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○はねびよん健康ポイントアプリで自転車関連情報を配信（3回）しました。 ○OTAサイクルフェスタを開催（11月）し、散走等を実施しました。 ○チラシ・パネルを作成し、OTAふれあいフェスタなどのイベントで啓発活動を実施しました。 ○サイクリング拠点の設置に向けた事例収集、必要設備の整理等を実施しました。 			
所管部	都市基盤整備部		

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 1

水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 2

身近な場所で水やみどりと触れ合える、潤いとやすらぎのあるまちをつくります



1 大田区緑の基本計画グリーンプランおおたの推進

都市緑地法第4条に基づき平成23年に策定した大田区緑の基本計画グリーンプランおおたの推進により、緑豊かで快適な都市を形成していくことを目指します。また、計画の改定では、緑地の適正な保全、都市公園・緑地の整備及び緑化の推進など、みどりのまちづくりにおける将来のあるべき姿とその実現に向けて、グリーンインフラの取組を加え、みどり施策のさらなる推進を図ります。

決 算 額	17,623,000 円	執 行 率	73.46%
主要施策の成果（令和4年度の取組内容）			
<p>【大田区緑の基本計画グリーンプランおおたの推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学識経験者、区民委員、事業者委員及び区からなるグリーンプランおおた推進会議を4回（5/12、8/29、1/20、3/22）開催し、計画改定に向けた検討及びみどりの取組への意見交換を行いました。 ○グリーンプランは、パブリックコメントによる区民からの意見集約及び庁内協議・検討を経て、令和5年3月に改定しました。 			
<p>【（仮称）グリーンインフラ事業計画の策定】 みらい</p> <ul style="list-style-type: none"> ○上位計画や関連計画におけるみどりの機能を活用するグリーンインフラに関連する方針を抽出し、ヒートアイランド現象の対策や緑被率の減少等の区における地域課題の把握を行いました。 ○（仮称）大田区グリーンインフラ事業計画の策定に向けて、環境、防災・減災及び地域振興の3つの視点で地域特性や課題を踏まえた取組方針を検討しました。 			
所管部	まちづくり推進部		



2 拠点公園・緑地の整備 みらい

区民に身近な公園は、水やみどりと触れ合うことができる憩いの場としての機能のみならず、まちの安全性を高める機能も併せ持っています。区内のみどりの総合的な機能拡充を図り、「都市計画公園・緑地の整備方針」に基づく優先整備区域の早期整備や、新たなみどりの拠点となる公園・緑地の整備を進めます。

決 算 額	753,216,483 円	執 行 率	95.09%
主要施策の成果（令和4年度の取組内容）			
<p>【拠点公園の整備】</p> <p>○田園調布せせらぎ公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計委託<拡張用地>を完了(3月)しました。 ・整備工事<富士見坂下>を完了(2月)しました。 ・整備工事<多目的広場>を完了(7月)しました。 <p>○洗足池公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学識経験者、地権者、地元自治会等に協議会委員を委嘱し、保存活用連絡協議会を2回開催(10月・2月)しました。 ・名勝洗足池公園保存活用計画作成基礎調査委託(樹木調査その3)が完了(2月)しました。 ・用地購入<洗足池公園増設用地>について、国庫補助・東京都文化財保存事業補助金・都市計画交付金の申請を行い、土地開発公社から用地を買い戻しました(2月)。 <p>○大森ふるさとの浜辺公園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大森ふるさとの浜辺公園に隣接した元下水道局用地について、令和4年12月に都市計画変更しました。また、都市計画事業認可申請を12月に完了しました。(令和5年4月に事業認可予定) ・設計委託<大森東水辺スポーツ広場照明>を完了(3月)しました。 			
<p>【拠点公園の再整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平和島公園の整備工事を完了しました。 ○公園長寿命化計画の見直しに向けて、検討を行いました。 			
<p>【地域の拠点となる公園・緑地の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○貴船堀公園・貴船堀緑地等の都市計画変更を行い、都市計画事業認可申請を完了しました。(令和5年4月に事業認可予定) 			
<p>【拠点公園における公民連携の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○キッチンカーの試験導入に向けて、他都市の事例調査及び拠点公園の現地確認を実施し、その結果を基に維持管理部門と調整して、対象公園候補を選定しました。 			
所管部	都市基盤整備部		



3 地域に根ざした公園・緑地の整備

区民との協働による公園・緑地の新設・拡張やリニューアル整備などの機会をとらえ、多様な世代の人が利用しやすく、「地域の庭・広場」として地域に親しまれ、区民に愛される魅力ある公園づくりを進めます。また、災害における一時避難所等として、まちの防災機能向上を図ります。

決 算 額	423,418,328 円	執 行 率	93.22%
主要施策の成果（令和4年度の取組内容）			
<p>【地域に根ざした公園・緑地の新設・拡張】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東雪谷四丁目児童公園の隣接地について、大田区土地開発公社より買戻しを行いました。また、設計を完了しました。 ○道塚南公園の設計を完了しました。 ○潮見児童公園等の設計を完了しました。 ○平張第二児童公園の整備を完了しました。 			
<p>【地域に根ざした公園のリニューアル】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○六間堀緑地の設計を完了しました。 ○本羽田第三公園の整備を完了しました。 			
<p>【健康支援公園の整備推進（いきいき健康公園づくり）】 </p> <ul style="list-style-type: none"> ○鶉の木地区において、地域の複数公園を一体化した健康・運動ネットワークの形成等を目指し、小規模公園の整備（9/22供用開始）を行いました。高齢者などがスマートフォンに親しみながら健康づくりや交流ができる機会を増進するため、ウォーキングコースにQRコードを掲示し、「はねびょん健康ポイント」事業と連動した取組を推進しました。 ○仲池上・久が原地区の実施設計委託を完了（10月）しました。 			
<p>【子育て支援公園の整備推進（子育てひろば公園づくり）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○年度計画の見直しを行い、令和5年度整備について、入新井公園から萩中公園へ変更しました。 ○京浜蒲田公園の整備を完了しました。 ○だれでも遊具（UD遊具）の導入について、調査・検討しました。 			
<p>【遊具の安心・安全対策の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○遊具点検（劣化点検年1回・規準点検2年に1回）を実施しました。 			
<p>【樹木の保全更新】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○サクラの保全・更新のため、洗足池公園で樹木伐採工事（2本）、多摩川台公園で樹木伐採工事（4本）及び樹木更新工事（5本）を実施しました。 ○名勝洗足池公園保存活用計画基礎調査委託（樹木調査その3）を実施し、景観構成重要木140本について 			

て専門機器を使用した詳細な診断を行い、樹木についての保存活用計画を修正しました。

所管部

都市基盤整備部

4 地域力を活かしたみんなのみどりづくり

ふれあいパーク活動やおおた花街道など、区民、事業者、行政の連携による道路・公園などの維持管理や利活用を推進します。公園・緑地などを地域住民が「地域の庭・広場」として利活用できるような活動を支援します。

決 算 額	13,827,949 円	執 行 率	92.36%
主要施策の成果（令和4年度の実施内容）			
<p>【ふれあいパーク活動の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○参加団体の増加に向けて、区設掲示板等へのポスター掲示（5月号）や区報（9/1号）を活用した「ふれあいパーク活動」内容の紹介等を行い、幅広く公募活動を行いました。 ○情報誌（ふれあいパークニュース22号）を3月に発行しました。 ○パンフレットやニュースを各施設で配布し、幅広く自治会・町会等の地域住民や企業等の目に触れるよう努めました。また設置場所に田園調布せせらぎ館等を追加しました。 			
<p>【おおた花街道の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○花苗や軍手など、活動に必要な消耗品を購入・支給することで、道路の植え込みや駅前広場の花壇を地域の方々が主体的に整備できる体制を支援しました。 			
<p>【公園施設利活用の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多摩川台公園の古墳展示室の利活用について、調査・検討を実施しました。 ○平和の森公園展示室の運営を委託しているNPO団体との連携・協力により施設活用の促進を図り、利用者の増加を目指しました。また、老朽化した施設の改善を図るため、修繕計画を策定し、照明施設のLED化を実施しました。 			
所管部	都市基盤整備部		



5 呑川水質浄化対策の推進 みらい

呑川の水質を改善するため、東京都や流域自治体と連携して、総合的な水質浄化対策を研究・検討し、浄化施設などによるスカム対策、悪臭対策、ユスリカ対策などを推進します。合流式下水道の改善に向けて、東京都と連携・協力し、呑川合流改善貯留施設の整備を推進します。

決 算 額	103,881,639 円	執 行 率	90.92%
主要施策の成果（令和4年度の取組内容）			
<p>【東京都や流域自治体と連携した総合的な水質浄化対策の検討、研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○呑川水質浄化対策研究会を開催し、東京都と流域自治体で実施する総合的な水質浄化対策の推進を図るとともに、進捗状況の確認を行いました。 ○呑川水質調査を実施（12回）しました。 ○呑川の状況を監視するパトロールを実施し、悪臭やスカムの発生状況を把握するとともに、データを関係機関に提供し、浄化装置の評価等に活用しました。 			
<p>【水質浄化対策の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水質改善に関する取組を以下のとおり実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・高濃度酸素水浄化施設及びスカム発生抑制装置を稼働しました。 ・スカム対策、汚泥浚渫を実施しました。 ・総合的な水質浄化による改善効果を検討するため、水質調査、カメラ調査等を行いました。 ○合流式下水道の改善に関する取組を以下のとおり実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・貯留施設の整備に向けて、立坑設置工事に着手しました。 ・立坑工事の着手にあたり、地元説明会を開催しました。 			
所管部	都市基盤整備部、環境清掃部		



6 散策路の整備

河川や海など、貴重な自然環境資源を活かし、区民にとって身近で親しみやすく、魅力的な観光資源となる水と緑のネットワークの形成・拡充を推進します。

決 算 額	76,954,900 円	執 行 率	88.81%
主要施策の成果（令和4年度の実施内容）			
<p>【呑川緑道】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○設計委託（東雪谷二丁目、延長400m）を完了しました。 ○整備工事（東雪谷三丁目、延長97m）を完了しました。 			
<p>【桜のpromenade】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○整備工事（中馬込二丁目、延長180m）を完了しました。 			
<p>【海辺の散策路】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旧呑川部は、水門跡地における建屋解体工事に関する調整を、東京都港湾局と行いました。 ○呑川河口部は、東京都港湾局が実施する防潮堤建設工事と、区が実施する歩道橋架設工事について、施工時期などの調整を行いました。 ○北前堀は、東京都港湾局が実施する防潮堤建設工事と、区が実施する係留施設整備工事について、設置位置や施工時期などに関する調整を行いました。 ○南前堀は、港湾局の水門撤去範囲に関する漁業関係者調整が継続して行われているため、区が行う歩道橋の設置位置や施工時期などに関する調整を行いました。 			
所管部	都市基盤整備部		

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 1

水と緑を大切にし、すべての人に安全で潤いのある暮らしを実現します

施策 3

災害に強く、安全で安心して暮らせるまちをつくります

11 住み続けられるまちづくりを



1 倒れないまちづくりの推進 みらい

耐震化助成などを行い、主要道路沿道の民間建築物などの耐震化を促進します。

決 算 額	766,205,012 円	執 行 率	58.66%
主要施策の成果（令和4年度の実施内容）			
<p>【耐震化の促進】 !</p> <p>○建築物耐震化助成実績は、コンサルタント派遣219件、診断73件、設計34件、工事（除却を含む）188件でした。</p> <p>○助成制度について大森地区4,961戸に個別周知を行い、23件に個別訪問を行った結果、新たに1件の耐震コンサルタント派遣、5件の耐震診断助成の申請に繋がりました。</p> <p>○特定緊急輸送道路沿道建築物助成制度については、引き続き、制度の利用について建物所有者に個別に働きかけ、設計8件、工事5件の助成を行いました。</p> <p>○沿道耐震化道路沿い建築物の耐震化を促進するために、助成制度の個別周知を行った結果、診断1件、工事2件の助成を行いました。</p>			
所管部	まちづくり推進部		

11 住み続けられるまちづくりを



2 燃えないまちづくりの推進 みらい

不燃化建替助成などを行い、木造住宅が密集する市街地、地区防災道路沿道の不燃化を促進します。

決 算 額	219,017,168 円	執 行 率	77.95%
主要施策の成果（令和4年度の実施内容）			
<p>【不燃化の促進】 !</p> <p>○住宅市街地総合整備事業の推進により、羽田地区重点整備路線用地を5件、不燃化促進用地を2か所取得しました。</p> <p>○都市防災不燃化促進事業により、「羽田地区防災街区整備地区計画」の区域内において、3件の助成を行い地区防災道路周辺の建物の建替え促進を図りました。</p> <p>○不燃化特区制度を活用した不燃化まちづくり助成事業により、「大森中地区」及び「羽田二・三・六丁目地区」の区域内において、31件の助成を行い建物の除却・建替えの促進を図りました。</p>			
所管部	まちづくり推進部		



3 がけ崩れ災害の防止 みらい

がけ等整備工事助成などを行い、土砂災害の未然防止を図ります。

決 算 額	8,122,093 円	執 行 率	60.17%
主要施策の成果（令和4年度の実施内容）			
<p>【がけ崩れ災害の防止】 !</p> <p>○がけ等整備工事助成の制度が令和3年度末で事業を終了する予定でしたが、令和8年度末まで延長したことにより、3件の工事を行いました。</p> <p>○令和元年度・2年度に行った「がけ等実態調査」の調査結果に基づき、がけ及び擁壁（がけ等）を所有・管理等されている方に、適切な管理をお願いする通知を送付しました。</p> <p>○令和4年度から、がけの改修方法が分からないという所有者に対し、専門家による現地訪問相談、具体的な工法提案を行う「がけ等アドバイザー派遣制度」を開始し、簡易アドバイス4件、詳細アドバイス1件の派遣を行いました。</p>			
所管部	まちづくり推進部		



4 地域の道路整備

狭あい道路の拡幅整備や私道の整備を行い、安全で快適な生活環境の向上を図ります。

決 算 額	779,513,365 円	執 行 率	81.78%
主要施策の成果（令和4年度の実施内容）			
<p>【地域の道路整備】 !</p> <p>○建築基準法第42条第2項に定められた幅員4m未満の狭あい道路の拡幅整備を実施（整備件数323件、整備面積2,363㎡、整備延長3,710m）しました。</p> <p>○区内総延長261km（両側で522km）のうち、約110km（整備率21.0%）の拡幅整備が完了しました（令和4年度末）。</p> <p>○地域住民の生活道路である私道の道路舗装等の工事助成を実施（件数7件、面積520㎡）しました。</p>			
所管部	まちづくり推進部		



5 安全で快適な住環境の確保

空家等の適切な維持管理や活用等に関する相談に応じ、空家対策を推進します。また、民間賃貸住宅への入居が制限されがちな高齢者、障がい者、ひとり親世帯などが安心して住替えができるよう、住宅確保支援事業を実施するとともに、住宅の所有者については、住宅リフォームの助成を実施することにより、快適な住環境の確保を促進します。分譲マンションについては、適正に管理が行われるよう、東京都と連携して対策を進めます。

決 算 額	159,607,598 円	執 行 率	95.41%
主要施策の成果（令和4年度の実施内容）			
<p>【空家等対策の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○空家総合相談窓口で385件、空家総合相談会で48組の相談を受けました。 ○空家等対策庁内調整会議を3回、同作業部会を1回、空家等対策審議会を3回開催しました。 ○空家に関する陳情（124件）等を受け、管理不全な空家所有者等に対し、改善を求める文書を146件送付しました。 ○令和4年10月から令和5年3月にかけて、大田区のYouTubeチャンネル上でオンラインセミナーを実施しました。 ○「大田区空家等の適切な管理の推進に関する条例」を令和4年6月30日付けで制定し、条例に基づく緊急安全措置を実施しました。 ○空家総合相談窓口で空家所有者登録19件、利用希望者登録14件の申請を受けました。 ○空家所有者と利用者の間でマッチングが2件成立しました。 			
<p>【住宅確保要配慮者への支援】 </p> <ul style="list-style-type: none"> ○住宅相談窓口で住宅確保要配慮者の相談に応じ助言を行うとともに、協力不動産店の紹介を行いました。 ○民間賃貸住宅の賃貸借契約・更新の際に保証人の確保ができない方に対し、家賃債務保証会社の加入費の一部を助成しました。（助成実績：5件） ○協力不動産店向け説明会や居住支援セミナーの開催をしました。（説明会参加者：51名、セミナー参加者：61名） ○「協力不動産店リスト」「居住支援施策のご案内」を作成し、居住支援協議会の活動及び支援制度の普及啓発を行いました。 ○「家主・不動産店向け居住支援ガイドブック」を作成し、協力不動産店の拡充に努めました。 ○居住支援協議会を2回、同庁内検討会（本会）を2回、同庁内検討会（作業部会総会）を2回、同合同部会を1回開催しました。また、協力不動産店向け説明会を1回、居住支援セミナーを1回、職員向け研修会を1回開催しました。 			

【分譲マンション維持管理支援】

- 分譲マンション管理セミナー（2回）を開催し、居住者や管理組合等を対象とした分譲マンション相談会（2回）を実施しました。
- 管理状況届け出制度に基づき、管理不全の兆候のあるマンション23件、未届けマンション40件への調査助言を実施しました。
- マンション建替え法に基づく建替組合設立認可の申請（1件）を受付けました。

【「新しい生活様式」に対応した住宅リフォームの支援】

- 令和3年度から住宅リフォーム助成事業の対象に、新しい生活様式への対応工事を追加しました。
- 新しい生活様式への対応工事を対象に82件、5,216,000円を助成しました。
（住宅リフォーム助成事業全体：助成件数846件、助成金額102,361,000円）

【大田区住宅マスタープランの改定】

- 新型コロナウイルス感染拡大や気候変動の影響と考えられる自然災害の発生など、区民の生活を取り巻く環境の変化に対応し、誰もが生涯にわたり健やかに安心していきいきと暮らせる住まいと住環境を整備するため、今後の新たな住宅政策の指針となるよう「大田区住宅マスタープラン」を改定しました。
- 区内の分譲マンション管理の適正化を図るために「大田区マンション管理適正化推進計画」を包含して策定しました。

所管部

まちづくり推進部

6 無電柱化の推進 みらい



「都市防災機能の強化」、「安全で快適な歩行空間の確保」、「良好な都市景観の創出」に寄与する、区道の無電柱化を計画に基づき推進します。

決 算 額	290,480,132 円	執 行 率	94.76%
-------	---------------	-------	--------

主要施策の成果（令和4年度の実施内容）

【無電柱化の整備】

- 羽田一丁目から羽田六丁目
 - ・電線共同溝及び道路設計委託を実施しました。
 - ・既存テレビ共聴設備送信状況調査委託を完了（8月）しました。
 - ・令和3年度に着手した電線共同溝整備工事（1工区産業道路側）について、特殊部及び管路の設置工事が完了しました。
 - ・試掘調査工事（3工区）について、東京都に補助金交付申請を行い、試掘調査工事を実施しました。
 - ・引込管・連系管（1工区弁天橋側）について、締結済みの協定（電力管（工事・設計））の工期変更（9月→3月）のための協定を締結し、設計・入線工事が完了しました。
 - ・引込管・連系管（1工区産業道路側）について、通信管及び電力管の設計施行に係る協定を締結、設計が完了しました。

○北千束三丁目

- ・道路詳細設計委託の全体工程を見直し、工程に合わせた図面修正を実施しました。
- ・道路整備(付帯)工事を実施しました。

○池上四丁目

- ・電線共同溝予備設計委託を実施しました。

所管部

都市基盤整備部



7 橋梁の耐震性の向上 みらい

橋梁は円滑な交通に資するとともに、災害時には避難や物資輸送の要としての機能を担う、重要なインフラです。区が管理する橋梁の中で、鉄道や道路を跨ぐ橋梁、道路ネットワークにおける路線の位置付け、地震による被災事例を踏まえて、92 橋を優先対策橋梁に選定し、架替え・耐震補強整備を計画的に進めます。

決 算 額	528,797,290 円	執 行 率	85.10%
主要施策の成果（令和4年度の実施内容）			
<p>【架替え整備】</p> <p>○関係機関協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旭橋について、計画協議が完了（8月）しました。 ・境橋、三ツ木橋は、東京都河川部との設計協議を進めました。 ・平和島陸橋（北側）は、工事に際し首都高速道路の通信施設に対する防護が必要となったため、首都高速道路・KDDIとの協議を進めました。 <p>○調査、設計等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貳之橋、境橋、三ツ木橋について、計画通り設計が完了しました。 ・平和島陸橋（北側）は警視庁との協議の遅れにより、設計委託の工期を令和5年度まで延伸しました。 <p>○工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貳之橋について、計画通り工事を進めました。 			
<p>【耐震補強整備】</p> <p>○調査、設計等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・京和橋、長栄橋について、計画通り設計が完了しました。 ・平和島陸橋（南側）は、設計変更の必要が生じたため、工期を令和5年度まで延伸しました。 ・笹丸橋、四之橋は契約を締結し、計画通り設計を進めました。 <p>○工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長栄橋は、計画通り工事が完了（令和4年11月）しました。 ・稲荷橋は工事着手に向けて、JR2社と協定を締結（令和5年1月）しました。 			
所管部	都市基盤整備部		



8 都市基盤施設の維持管理の推進

日常生活や経済活動を支え、災害対策においても重要な役割を担う道路・橋梁きょうりょうなどの維持管理手法を対症療法型から予防保全型へ転換し、都市基盤施設を延命化するとともに、PDCAサイクルに基づく計画的な維持管理やデジタル化を進め、施設の安全性を確保します。

決 算 額	2,239,295,965 円	執 行 率	96.61%
主要施策の成果（令和4年度取組内容）			
<p>【橋梁の補修】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○調査10橋（一之橋、八幡橋、仲之橋、柳橋、天神橋、清水橋、東橋、末広橋、笹丸橋、京和橋）を完了しました。 ○修繕設計2橋（道々橋、日蓮添架人道橋）を完了しました。稲荷橋については、設計に必要な調査を完了しました。 ○修繕工事3橋（永久橋、浄国橋、一本橋）を完了しました。 ○定期点検8橋（山王跨線人道橋、外川田跨線人道橋、町屋跨線人道橋、仲町跨線人道橋、宮前跨線人道橋、二本木橋、西三跨線人道橋、第二中谷跨線人道橋）を完了しました。 			
<p>【道路の維持管理】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道路舗装改良工事を以下のとおり実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> <大森、蒲田地区> <ul style="list-style-type: none"> ・城南島六丁目2番から二丁目5番先(A=3,549㎡)の整備を完了しました。 ・西蒲田八丁目1番から23番先(A=1,285㎡)の整備を完了しました。 ○アスファルト舗装工事を以下のとおり実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> <大森地区> <ul style="list-style-type: none"> ・中馬込二丁目6番から4番先(A=612㎡)の工事を完了しました。 <蒲田、糎谷、羽田地区> <ul style="list-style-type: none"> ・西六郷四丁目28番から22番先(A=662㎡)の工事を完了しました。 <調布地区> <ul style="list-style-type: none"> ・久が原二丁目11番から久が原五丁目12番先(A=2,493㎡)の工事を完了しました。 ○道路台帳の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・道路情報の随時更新を遅滞なく実施しました。 ○MMS測量による道路台帳現況平面図の更新(下丸子一丁目外7か所、西六郷一丁目外14か所)を実施しました。 ○地籍調査(久が原五丁目、多摩川二丁目)を推進しました。 ○道路台帳窓口において、キャッシュレス決済を導入しました。 ○My City Report(道路損傷検出サービス等)を試行導入し、運用方法の検証・調整を実施しました。 			
所管部	都市基盤整備部		



9 交通安全の推進

交通事故を防止するには、人も車もお互い思いやりを持ち、交通ルールやマナーを守って行動することが大切です。区民や警察などの関係機関と連携を強化し、子どもから高齢者まで、世代や属性に合わせた交通安全教育や意識啓発を行います。また、道路等における安全対策を推進し、交通死亡事故ゼロのまちを目指します。

決算額	117,915,931 円	執行率	77.24%
主要施策の成果（令和4年度の実施内容）			
【ルール・マナーの教育・啓発】 ○交通安全知識の啓発活動を以下のとおり推進しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・保育園向けの交通安全移動教室を実施（86回）しました。 ・高齢者向け交通安全集会を実施（30回）しました。 ・交通安全だより春号（4月）、夏号（7月）、冬号（12月）を配布しました。 ・高齢者交通安全体験教室を実施（1回）しました。 ・自転車安全教育（スクエアード・ストレイト）を実施（中学13回、高校1回、一般向け1回）しました。 ・児童館での交通安全講話を実施（16回）しました。 ・区報にて交通安全啓発記事を掲載しました。 			
【交通安全環境の整備】 ○交通安全施設（自転車・歩行者ストップマーク、ガードレール、標識等）の整備を推進しました。			
所管部	都市基盤整備部		



10 水防活動拠点の整備 みらい

激甚化する水害に備え、六郷地区及び田園調布地区に水防活動拠点を整備し、更なる治水対策の強化を進めます。

決算額	372,441,461 円	執行率	95.13%
主要施策の成果（令和4年度の実施内容）			
【水防活動拠点の整備】 !			
○大田区仲六郷水防資機材センターの自家発電機設置工事が完了（2月）しました。 ○大田区田園調布水防センター整備工事及び自家発電機設置工事が完了（2月）しました。 ○田園調布地区水防監視カメラの整備が完了（3月）しました。			
所管部	都市基盤整備部		

基本目標2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く^{まち}都市

個別目標2

首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 1

空港臨海部の特性を活かし、世界にはばたき未来へつなげるまちをつくります



1 HANEDA GLOBAL WINGS のまちづくり みらい

羽田イノベーションシティに集積する国内外のヒト・モノ・情報の交流を活発化させ、イノベーションの創出や日本文化、区の魅力などの発信を通じて、地域の活性化を目指します。併せて多摩川沿いエリアに水や緑に親しめる親水緑地を整備し、河川空間のオープン化を推進するとともに、親水緑地と連続性を持たせた都市計画公園を整備することで、多様な人々が楽しめる空間創出を図ります。

また、区施策活用スペース（「HANEDA×PiO」）の施設運営のほか、同スペース内交流空間（PiO PARK）の利用拡大を図り、同空間を HUB とした新産業創造・発信エコシステムの構築に向けて、モデルとなる事業の実装に向けた取組や当該事業のプロモーション等を推進します。

決 算 額	774,622,653 円	執 行 率	97.52%
-------	---------------	-------	--------

主要施策の成果（令和4年度の実績内容）

【羽田イノベーションシティにおける公民連携事業の推進】 !

- 事業者との対話により、企業同士の交流会であるHANEDA X（ハネダクロス）、AIの描くデジタルアート展、夏のお祭りキャンペーン、空の日フェスティバルと連携したスマートシティEXPO、春先フェアの開催や地域団体と連携したまちあるきツアーの実施につなげるなど、羽田イノベーションシティらしい先端産業、文化産業、エリアマネジメントの融合を感じられる取組を促進しました。
- 羽田みらい開発株式会社等と、2023年開業エリアの事業内容の調整やプレスリリースの整理を、区長出席の意見交換会にて行うなど、開業に向けた準備を着実に進めました。
- モニタリングについては、令和4年度が通年実績を評価する初年度となるため、経済波及の創出、人の流れの創出、HICityの認知度・満足度の向上に係る事業成果の分析を行い、区内波及の創出に向けた提言をまとめました。区内波及のさらなる効果的な分析に向け、来街者や施設内就労者を対象としたアンケート調査を実施しました。
- スマートシティの構築については、事業者による実証実験を支援しました。また、福祉分野を対象に、区職員や福祉施設職員がロボット等の先端技術に触れる機会を創出し、障がい者施策や高齢者施策等における先端技術の活用や身近な課題解決を考える検討会を開催（1回：6/28）しました。エレベータ連携デリバリーサービスロボットの実証実験や自動運転バスのHICityと羽田空港第3ターミナル間における公道での実証実験が、令和5年1月から3か月間実施されました。
- ユニークおたを活用し、毎月3日にはHICityの入居テナントに関する情報発信を行ったほか、羽田スマートシティEXPO等のイベント開催時はTwitterを活用するなど、積極的な情報発信と理解促進に取り組みました。また、2月1日号の区報1面にスマートシティの有用性などについて広く発信しました。

【羽田イノベーションシティ「HANEDA×PiO（区施策活用スペース）」の利用拡大】 !

- HANEDA×PiOをHUBとしたエコシステム構築モデル事業を次のとおり実施し、事業実装を進めました。
 - ① MedTech-HUB事業
 - 医療関連団体・人材を対象としたイベントの実施（2件）及びそのネットワーク形成や情報発信の計画を

進めました。

この結果、PiO PARKが医療・災害医療分野のHUBとして機能する可能性が実証でき、また、同分野のニーズに対して、大田区独自の技術的解決策を提供することが可能であり、それがニーズ側、シーズ側双方のメリットになることが強く示唆されました。

② 欧州市場事業

ドイツを中心に200社をリストアップして調査を進めた結果、特にメディカル、精密部品、プラスチック形成分野で区内企業との協業可能性が高いことが確認できました。

欧州企業が新型コロナウイルス感染拡大以降、中国比重を見直している傾向も把握でき、ビジネス拡大の好機であることが確認できました。

③ アンバサダー事業

新たに任命した8人のアンバサダーが情報発信やPiO PARKへの利用者誘致目的のイベントを実施して、認知度を高めるとともに、テナント企業との連携機会を創出しました。

④ プロモーション事業

独自ゆるキャラの活用やブランド企業とのコラボレーション企画の実施により、より幅広い層への情報発信を行いました。

また、こうした取組を通じて、職員の動画作成スキルが高まりました。

○HANEDA×PiOの活性化に向け、以下の取組を実施しました。

- ・幅広い相談に応じるため、専門員を常駐させました。
- ・テナントゾーンへの入居企業間の相互交流や、区内企業と羽田イノベーションシティ内企業との連携創出を目的とした交流会を実施（区実施延べ8回、SPC実施1回）しました。
- ・新産業を創造し、発信される場となることを目的に、管理者である（公財）大田区産業振興協会と連携し、PiO PARKでのイベントの実施（延べ86件）や利用者の誘致（来訪者数延べ11,482人、オンラインイベント参加者数延べ2,005人）を進めた結果、半日で商談件数が250件以上となる企画も生まれました。
- ・多様な主体が集まり、コミュニティを形成していくことを目的に、区内企業が主体となった「HANEDA共創プラットフォーム」を立ち上げました。

【都市計画道路・公園、緑地などの整備及び潤いと賑わいのある空間創出】

○第1ゾーンでは独立行政法人都市再生機構により、電線共同溝や道路施設等の整備が進められました。引き続き、道路整備等による交通結節機能の更なる向上に向けて、事業の進捗管理を行うとともに、周辺施設等との工事調整や関係機関等との協議を進めます。

○第1ゾーン都市計画公園については、以下のとおり取組を進めました。

- ・周辺施設と連携し、当該地域全体の魅力やポテンシャルをさらに向上させるため、本公園の北側区域約1.3haの拡張に関する都市計画変更手続きに向けた検討をしました。
- ・本公園に関する認知度向上、愛着醸成等が図れるよう公園予定地の暫定活用として「だれでも!PARK!!2022」や電動モビリティイベント「Sunday E Park」、UR都市機構との連携による「大田区の未来の公園の使い方を楽しむ日!」を開催（4回：7/24、8/21、9/17～19、11/12）しました。
- ・本公園の整備・運営について公募設置管理制度（Park-PFI）の活用を基本として検討を進め、この公園整備・運営事業について民間事業者への周知、事業の理解促進、意見聴取、参画意欲確認等を目的に、オンラインによる全体説明（50社参加）や個別サウンディング（37社参加）を実施しました。

○第2ゾーン河口部の緑地拡張については、都市計画変更が完了し、実施設計及び関係機関協議等を進めました。なお緑地拡張区間となる防潮堤の整備は、国土交通省により年度内に竣工しました。

○ソラムナード羽田緑地については、水辺空間での憩い・賑わいの創出に向けて社会実験を実施する事業者を公募・決定し、「ソラムナード羽田緑地で羽休み!!2022」を開催（4回：10/22、10/23、11/12、

11/13)しました。

所管部

産業経済部、空港まちづくり本部



2 空港臨海部の魅力向上と活性化

空港臨海部の産業のあり方や空港・港湾に隣接する立地特性を活かした土地利用等により、ポテンシャルを最大限に引き出し身近で魅力溢れる空港臨海部を実現できるように、にぎわい・観光の視点も踏まえながら地域との連携を積極的に図り、検討を進めます。

決算額	6,083,000 円	執行率	99.09%
主要施策の成果（令和4年度の取組内容）			
【モノレール沿線のまちづくり】			
○流通センター駅周辺地区では、地区内開発事業者と締結した協定に基づき、京浜運河への防災船着場整備に向け、開発事業者と連携し設計を行ってきました。東京都等関係機関との協議・調整を進め、令和4年6月より船着場の本体工事に着手し、令和4年12月に完成しました。引き続き、船着場を観光船や水上タクシーなど日常利用を可能にするため、護岸にスロープなどを整備するための設計に着手しました。			
○羽田旭町周辺地区の旧整備場地区へのアクセス確保を目的とした海老取川に架かる人道橋整備について、開発事業者と連携し設計条件の整理を行うとともに、東京都等関係機関との協議・調整を進め令和4年度で概ね協議を完了させました。また、これに合わせて架橋のスケジュールを令和5年5月より令和6年10月末に完成予定とした計画で事業者と調整し、庁内関係部署、議会報告、地元へ周知しました。			
【埋立島部（平和島、京浜島、昭和島、城南島、東海、令和島）のまちづくり】			
○各島連絡協議会を開催のうえ、まちづくりに関する課題を共有し、その解決に向けた改善策について、関係機関と協議・調整し、空港臨海部グランドビジョン2040について周知を行いました。			
○京浜島においては、産業経済部と連携して京浜島連合会と六郷BASE関係者で六郷BASEの視察及び京浜島工場見学を行い、双方向でのビジネスマッチングのため企画を実施しました。			
【空港臨海部グランドビジョン2030改定】			
○空港臨海部グランドビジョン2040の一般に広く周知するため、本編表紙デザインを決定し本編製本版を完成しました。また同時に概要版、パンフレットの作製を行い、関係部署、関係団体などに配布し、HPにも公表し一般に広く周知しました。			
所管部	まちづくり推進部		



3 空港臨海部交通ネットワークの拡充

空港臨海部の将来構想及び交通ネットワーク基礎調査を基に、空港臨海部のまちづくりと連動した道路網、公共交通機関、舟運などの交通ネットワークを拡充・整備します。空港アクセス及び都市間交通を円滑化するため、国道 357 号の多摩川以南の整備促進を働きかけます。

決 算 額	12,712,825 円	執 行 率	99.57%
主要施策の成果（令和 4 年度の実施内容）			
【空港臨海部道路網の計画検討・整備促進】			
<ul style="list-style-type: none"> ○昭和島から京浜島を結ぶ補助303号線の京和橋周辺における交通実態調査、交通シミュレーションを行い、京浜島で補助303号線と交差する国道357号を高架化した場合のケースも想定し渋滞改善効果を比較しました。 ○国道357号交差点の渋滞改善効果が最も高い結果となった補助303号線の京和橋を拡幅した場合の交差点の処理改良案を検討しました。 ○国道357号多摩川トンネル立坑工事の事業進捗について、工事主体である国土交通省川崎国道事務所と羽田空港側と川崎側の立坑工事現場の視察を行い工事の進捗を確認しました。 ○国道357号と東京港臨海道路が交差する京浜大橋北詰交差点及び国道357号と補助303号線が接続する京浜大橋南詰交差点の渋滞改善に向けて、国土交通省との勉強会を実施し、改善の方向性を確認しました。また、国道357号や補助303号線の京和橋を含む臨海部幹線道路の慢性的な渋滞状況を確認し、国土交通省へ渋滞改善の要望を伝えるため、同省と大田区合同で視察を行いました。 			
【多様な交通手段を用いたアクセス向上】			
<ul style="list-style-type: none"> ○内陸部と臨海部へのアクセス改善について、過年度成果のアンケート（埋立島5島の交通を利用する通勤者・来訪者に対してアンケート）や臨海部の公共交通の現状、移動特性やニーズの分析を行いました。 ○大量輸送交通の導入が効果的との方向性を見出し、候補路線など検討を行い、導入に向けての課題の整理を行い、庁内関係部署、交通事業者と意見交換を行いました。 			
所管部	まちづくり推進部		

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 2

首都空港『羽田』と臨海部が世界への扉を開く、国際交流拠点都市を創ります

施策 2

「国際都市おおた」の推進により、持続可能な国際交流・多文化共生を育みます

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



1 「国際都市おおた」の推進

令和4年4月オープン「おおた国際交流センター」を拠点とし、「国際都市おおた」の魅力と存在感を広く国内外へ発信していきます。また、外国人区民も含めた区民一人ひとりが地域の担い手として活躍でき、多文化共生意識の醸成や国際交流を推進する機会をつくります。

決 算 額	1,324,845 円	執 行 率	99.95%
主要施策の成果（令和4年度の実施内容）			
<p>【国際都市おおた大使の活躍支援】</p> <p>○これまで委嘱実績のなかったウガンダ、コスタリカ、ソロモン諸島、バングラデシュの4か国が加わった16名の新しい大使と、昨年度から引き続き19名の計35名を「国際都市おおた大使」（愛称：来～る大田区大使）として任命しました。</p> <p>○大使には、「18色の国際都市事業」への参加や、大使の出身国の文化や食べ物などの情報を発信してもらい、日本人区民と交流することができました。また、区内小学校との交流では、小学生とお互いの文化について発表を行い、文化交流をすることができました。</p>			
<p>【地域における国際交流の推進※1】 みらい</p> <p>○地域における多文化理解の促進を目的として、区内の子ども達やその保護者向けに「Ota多文化ファミリー交流会」を開催（6回、参加者延べ175人）しました。</p> <p>また、スポーツを通じて交流を深め、多文化共生意識の醸成を図る目的で、若い世代を中心とした「Otaスポーツで国際交流」を開催（参加者 44人）しました。</p> <p>○外国人留学生などが日本人の家庭を訪問し、日本の生活・文化体験や日本人との交流を行う「ホームビジット」を開催（参加者 ホスト側 4家庭 ゲスト側 9人）しました。</p> <p>○語学力を活かしたい人、国際交流に興味がある人などを国際交流ボランティアとして募集・登録し、協会事業を中心に様々な場面での活躍につなげました。（令和5年3月31日現在 国際交流ボランティア登録者数 330人）</p> <p>○大田区に住む外国人を身近な存在として感じてもらえるよう、国際交流ボランティアで構成する「隣の外国人」実行委員が区内在住の外国人取材し、彼らの大田区での生活や現在の心境等についての記事を作成しました。（発行数 6回）</p> <p>○JICA 海外協力隊や海外滞在経験があるボランティアが、ファシリテーターの心構えやノウハウを学ぶ「ファシリテーション講座」を開催（受講者 8人）しました。</p>			
<p>【多文化共生の意識啓発と相互理解の促進】</p> <p>○18色の国際都市事業では、大田区にある全18特別出張所と連携し、合計18回の事業を行いました。国際交流員による地域イベントの参加や、情報誌の執筆など、外国人区民と地域住民との交流だけでなく、外国のことを知ってもらう良い機会となりました。</p>			

基本目標 2

まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市

個別目標 3

ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します

施策 1

地域に好循環をもたらす、大田区ならではの産業の発展を支援します



1 工場の立地・操業環境の整備

産業支援施設（賃貸工場、創業支援施設など）の管理・運営を行うとともに、中小企業が事業の拡張や高度化のために行う工事等に対して、経費の一部を助成することで、工場の立地・操業環境の向上を図ります。また区内への企業立地を促進させるため、企業誘致活動を推進します。


決算額	995,120,839 円	執行率	89.56%
主要施策の成果（令和4年度の実績内容）			
<p>【産業支援施設の運営】</p> <p>○質の高いサービスを提供し、適正かつ効率的な運営を行った結果、モニタリング調査の結果は○（きちんと履行している）評価が100%となり、指定管理者が管理する6施設すべてが目標を上回りました。</p> <p>○南六郷創業支援施設（六郷BASE）の令和5年3月末現在の入居者数はオフィスが9社、シェアードオフィスが7社となりました。また、創業に関するセミナーや体験イベント等を開催（114回、参加者数832人）しました。</p>			
<p>【ものづくり工場立地助成】 </p> <p>○新規認定件数は、「ものづくり工場立地助成事業」が50件、「ものづくり企業立地継続補助金」が3件、「研究開発企業等拠点整備助成事業」が2件の合計55件でした。</p> <p>○「ものづくり工場立地助成事業」の対象経費の下限を50万円に引き下げたことや、省エネ化を含めた工場の設備投資の促進により、新規認定件数が前年度比で3割増加し、過去最高となりました。</p>			
<p>【企業誘致の取組推進】</p> <p>○企業留置及び企業誘致対策として、企業訪問を実施（178件）しました。</p> <p>○操業環境確保のため、不動産所有者等へのヒアリングを実施（86件）しました。</p> <p>○区内における空き不動産、事業用地の活用を促すためのパンフレットを作成し、金融機関、区内事業者に配布しました。</p>			
所管部	産業経済部		



2 新製品・新技術開発の支援

中小企業が新製品・新技術を開発する際に要する経費の一部を助成し、中小企業の技術力、開発力を高める取組を支援します。助成後も数年間にわたり、評価・検証を行い、事業効果を高めます。

中小企業が開発した、優れた新製品や新技術を表彰することで、高い技術力を区内外にアピールするとともに、社内の技術力・開発力の向上意欲を高めます。

決算額	72,221,804 円	執行率	94.35%
主要施策の成果（令和4年度の実施内容）			
【助成金交付】 			
○合計34件（トライアル助成2件、開発ステップアップ助成20件、実用化製品化助成12件）の申請を受け、製品化や普及が見込める16件を採択し、助成しました。			
【コンクール表彰】			
○新規性や市場性等の観点から発展が見込める計9件の新製品・新技術を選出しました。			
○（公財）大田区産業振興協会ホームページ及びパンフレット等の作成を行い、全国に広くPRしました。			
所管部	産業経済部		



3 取引拡大の支援

中小企業の取引機会を拡大するため、受発注相談窓口を常時開設するとともに、国内・海外の商談会や大手企業とのマッチング会を開催します。自主展示会の企画運営や国内・海外の展示会への出展支援を通じ、中小企業の製品・技術を広く周知するための機会を提供します。

決 算 額	68,943,701 円	執 行 率	73.07%
主要施策の成果（令和4年度の取組内容）			
<p>【受発注相談、商談会の実施】</p> <p>○窓口における受発注あっせん相談では806件の相談を受け、105件（53,497,000円）を成約につなげました。</p> <p>○受発注あっせんに対応するための区内企業データベース整備の他、現場の支援ニーズを確認するため、区内企業延べ1,000社を訪問しました。</p> <p>○大手・中堅企業へ向けた能動的なアプローチとして、ものづくり連携コーディネーター及び担当職員による発注開拓を行い、訪問先（60件）のうち19件、25,808,000円の成約につなげました。</p> <p>○第61回「ものづくり受発注商談会in大田」を実施（2/10、参加156社（発注54社、受注102社）、個別商談354件）しました。</p> <p>○区内企業の新たな取引先の開拓や受発注連携構築を深めるため、愛媛県企業×大田区企業モノづくり受発注商談会を実施（3/6、参加24社、個別商談44件）しました。</p>			
<p>【展示会の開催、出展支援】</p> <p>○「Meet New Solution in OTA ～NEXT おおた工業フェア～」を実施（2/1～2/3（オンライン3/17～3/31）、参加事業者数23社・団体、来場者数40,170人、オンライン登録者数3,527人）しました。</p> <p>○「大田区加工技術展示商談会」を実施（7/6、参加60社、来場者数1,179人、商談件数741件）しました。</p> <p>○次の国内展示会に出展し、区内企業の優れた技能・技術をPRし、大手・中堅企業等からの受注に繋げる相談を受けました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高精度・難加工技術展2022」（商談件数261件、成約件数3件） ・「第13回試作市場」（商談件数98件、成約件数なし） <p>○新製品・新技術コンクールの令和3年度受賞企業8社のうち6社に対して、希望する全国の展示会への出展費を助成することで、受賞製品等のPRを行いました（辞退2社）。</p>			
<p>【海外展開支援】</p> <p>○海外取引相談件数：区内企業を中心に延べ259件の利用がありました。 （欧州25件、中国・台湾145件、ASEAN20件、その他69件）</p> <p>○海外の展示会への出展支援では、新型コロナウイルス感染拡大防止のため出展形態を変更し、次の海外展示会にオンライン出展を行い、区内産業をPRしました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「FBCアセアン2022ものづくり商談会」（共同出展・商談件数31件） ・「Meet Taipei 2022」（（公財）大田区産業振興協会単独出展・商談件数3件） 			

【情報提供などの支援】

○諸外国の公的産業機関との交流:129件

(欧州21件、中国・台湾72件、ASEAN10件、北米9件、その他17件)

○海外機関・企業との国際取引あっせん:発注案件の紹介を18件行い、6件(計11,212,000円)が区内企業との間で成約しました。

○グローバルビジネス勉強会:計3回実施しました。延べ97人が参加し、海外情勢や国際物流に関する講演を通じて、区内企業の国際化を支援しました。

○外国語文書翻訳サービス:延べ12社が利用しました。

○海外企業信用調査:延べ6件の利用がありました。

所管部

産業経済部



4 商いの活性化、魅力の発信

商店街が地域の団体などと連携しながら、地域コミュニティの拠点としての役割を発揮できるよう、商店街が自主的に行う魅力・機能向上のための事業を支援します。

また、魅力ある名物を多くの来場者に紹介する展示会の開催や、区内の商店街及び個店の PR を行い、大田区の商いの魅力を広く発信します。

決 算 額	142,168,809 円	執 行 率	68.36%
--------------	---------------	--------------	--------

主要施策の成果（令和4年度の実施内容）

【商店街の機能向上支援】 みらい

○次の事業について商店会へ補助することで、魅力ある商店街づくりを行うとともに、地域コミュニティの核としての商店街機能の充実を図りました。

- ・大田区商店街チャレンジ戦略支援事業（イベント事業・活性化事業）：54商店会、81事業
- ・大田区地域連携型商店街事業：2実行委員会、2事業
- ・大田区商店街地域力向上事業：4商店会、4事業

○商店会の現状や潜在的な課題を抽出し、解決策の提案につなげることを目的として、商店会運営に関するヒアリング・業務の棚卸しを行いました。

- ・商店街ステップアップ応援事業：134商店会に対し、延べ327回の巡回訪問

○販売促進の取組を支援・実施することにより、商店街のにぎわい・つながりの創出に寄与し、地域及び商業の活性化を図りました。

- ・物価高騰の影響が懸念される区民生活の応援、キャッシュレスの定着及び地域経済の活性化を図るため、2種類の商品券事業を行いました。

プレミアム付デジタル商品券事業：利用者数46,137人、利用総額1,288,703,361円

プレミアム付区内共通商品券事業：購入者数37,255人、利用総額946,169,500円

- ・訴求対象や媒体に工夫を凝らし、商店会、個店グループがPRを実施する事業に対して周知費等への補助を行いました。

大田区商店街戦略的PR事業：16商店会、19事業

【商いの魅力発信】

○「おおた商い・観光展」は、区内全域を一つの会場に見立てて、「三國志」をモチーフにしたスタンプラリー等の企画、地域イベントとの連携により区内回遊を促進するスタイルで、11/3～12/4にかけて開催し、174事業者・団体が参加しました。

○開催案内チラシの区内小学校全児童配布、諸葛亮孔明風特製はねぴょんぬいぐるみの店舗設置及び賞品化、はねぴょん健康ポイントとの連携等により、参加事業者の店舗や観光スポットへの回遊を促し、特設ホームページアクセス件数63,479件、QRコード読み取り総数27,076件、抽選応募数2,001件となりました。

【大田区の特選品・グルメのPR】

○大田のお土産100選のPR

- ・東急プラザ蒲田イベントスペースで「大田のお土産100選フェア」を9/17～19に開催しました。
- ・区内バスケットボールチームのアースフレンズ東京Zと連携して、試合会場で認定商品の販売イベントを4/16～17、10/1～2の2期間に開催しました。
- ・11/5～6に開催された「OTAふれあいフェスタ2022」に、お土産100選に認定された5事業者とともに出展しPRしました。

○OTA!いちおしグルメのPR

- ・受賞店舗の情報更新を行い、総合版パンフレットを増刷しました。

所管部

産業経済部



5 創業支援

新たに区内で立地を希望する創業者への支援に取り組みます。窓口相談、ものづくり創業スクールなどの開催により、創業者が立地・事業展開しやすい環境をつくれます。

決 算 額	13,753,749 円	執 行 率	69.11%
主要施策の成果（令和4年度の実施内容）			
<p>【創業者支援相談】</p> <p>○創業相談窓口での相談対応を延べ805回実施しました。</p> <p>○ものづくり分野で創業を目指す方を対象に、ビジネスアイデアの作成等を行う創業体験ワークショップを8月に実施（4回、参加者数46人）しました。ワークショップだけでなく、専門家による講義やメンタリングも行い、最終的に全チームがオリジナルのビジネスプランのピッチ（プレゼンテーション）を行いました。</p>			
<p>【スタートアップ試作支援】 みらい </p> <p>○スタートアップ×大田区 企業ユナイト助成</p> <p>4月から申請企業の募集を開始し、区内外を問わず、50か所を超える様々なスタートアップ企業、支援団体・機関・施設及び金融機関等に対して周知を行い、申請件数4件のうち、3件を採択しました。（うち区内企業2社、区外企業1社）</p> <p>○スタートアップ試作支援事業のうち、創業セミナーは9月に実施（4回、参加者数延べ71人）しました。12月から行われたベンチャーピッチin羽田はコーチングプログラムに26社の参加申込みがあり、審査の結果10社を選定しました。選定した10社に対し、全体コーチング（2回）及び個別コーチング（複数回）を実施し、ピッチイベントを開催（2/17）しました。また、PiO PARKにおいては、ドイツNRW州のスタートアップ企業数社が羽田に来訪した際に、区内企業との意見交換会やピッチを実施し、さらに、海外スタートアップの拠点誘致を目的として展示会に出展する等、海外スタートアップ支援に取り組みました。</p>			
所管部	産業経済部		



6 ネットワーク形成支援

大田区のものづくり企業の競争力の源泉でもある「仲間まわし」のネットワークを維持、発展するため、IoTなどを活用し、既存ネットワークの体制強化、機能向上を目指すとともに、試作開発案件等のニーズとのマッチングを促進する環境を構築します。

また、中小企業が新事業展開に向けて構築する新たなネットワークの形成を促進するため、必要な経費の一部を助成します。助成後も数年間にわたり評価・検証を行い、事業効果を高めます。

併せて区内中小企業が「次世代モビリティ」「ライフサイエンス・ヘルスケア」「ロボティクス」等を中心とした、成長が見込まれる分野の産業クラスターを形成することを目的として、オープンイノベーションを戦略的にマネジメントし、具体的な製品開発等を実現していきます。

決 算 額	82,442,342 円	執 行 率	84.68%
主要施策の成果（令和4年度の実施内容）			
<p>【IoT仲間まわしによる中小企業の生産性向上プロジェクト】 みらい </p> <p>○区内中小製造業の強みである「仲間まわし」及び試作・研究開発力を生かすことのできるデジタル受発注プラットフォームの構築・拡大のための事業を推進しました。</p> <p>○区内中小製造業が約70社参画し、大企業やスタートアップ等から複数の相談案件を獲得しました。</p> <p>○推進体制を確立するとともに、海外展開や大学・研究機関との連携に向けた準備等を実施しました。</p> <p>○あわせて、区内中小製造業のデジタル化推進のための支援事業を立ち上げました。</p>			
<p>【次世代産業創造・産業クラスター形成支援】</p> <p>○セミナー・ワークショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区内企業の新たな事業展開に向けて、以下のセミナー・ワークショップを開催しました。 ①「大田区医工連携勉強会～とっておきの情報教えます!実践編～」 ②「東北大学セミナー 企業連携による新たな挑戦!～大田区企業に向け、開発活用事例とともに～」 ③「大田区レアアース泥開発推進セミナー『南鳥島レアアース泥の開発が日本を復活させる』」 ④「大田区レアアース泥開発推進セミナー『レアアースの魅力:素材からの視点、アカデミアからの視点』」 ⑤「第108回東工大技術交流セミナー『ドローンに代わる新しい空間移動ロボット“網状索道自走ロボット”の開発について』」 ⑥「いよいよ始まるデジタル仲間まわしの時代『大田区企業の実演を交えて』」 ⑦「デザインセミナー『売れる商品づくりって何?』～自社商品開発、何から始めていいのかわかりません～」 <p>○おた研究・開発フェア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おた研究・開発フェアを開催し、94社・団体が参加しました。 ・来場者数1,323人、商談件数4,819件、うち可能性の高い商談件数は603件となり、直近のリアル開催時（第9回）と比べ、可能性の高い商談件数が増加しました。 			
所管部	産業経済部		



7 多様な産業の持続的な発展に向けた人材育成・事業承継・危機管理等

区内の多様な産業集積が今後も維持・発展し続けるために、次代を担う世代が「働くこと」に対する興味を持ち、「しごと」について考える機会の提供などを行います。

また、経営者の高齢化や後継者不足の課題に対応するための円滑な事業の承継に向けた取組や、生産性の向上や事業継承力の強化のための中小企業のデジタル化等を支援します。

併せて、区内産業が災害や感染症等の影響を受けたとしても、その影響を最小限に留めて事業を継承できるようにするため、企業向けBCP(事業継続計画)策定の普及啓発を行います。

決 算 額	74,478,442 円	執 行 率	97.93%
主要施策の成果（令和4年度の実施内容）			
<p>【次代を担う人材育成】 みらい !</p> <p>○次世代のものづくり人材を確保・育成するため、以下のとおり講座・セミナーを開催しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業のまちスクール:8/5 23組46人(保護者含む)、8/25 24組48人(保護者含む) ・ものづくり実践教室Ⅰ:8/21午前 25組50人、8/21午後 25組50人、8/22午前 25組50人、8/22午後 25組50人 計100組200人(保護者含む) ・ものづくり実践教室Ⅱ:10/22 20人、11/13 28人 <p>○次代を担う商業事業者(リーダー)の育成支援事業として、次のとおり実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次世代リーダー育成塾(ネットワーク事業):12人参加、3事業実施 ・次世代リーダー育成塾(トライアル事業):28人参加、5事業実施 			
<p>【事業承継の取組支援】</p> <p>○事業承継等情報交換会を4/27に開催しました。</p> <p>○事業承継の相談体制づくりや事業承継にかかる普及啓発を進めました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー開催:2回 ・事業承継支援:1事業者 			
<p>【中小企業のデジタル化支援】 みらい</p> <p>○「OTAデジタル×PiO」のメンバーに1,309人が登録いただきました(令和5年3月現在)。</p> <p>○「OTAデジタル×PiO」上で中小企業のデジタル化支援等に関するコンテンツを33件発信しました。</p>			
<p>【副業人材を活用した中小企業支援】 みらい</p> <p>○区内企業を取り巻く環境変化や多様な課題への対応を図ることを目的に、デジタル技術・データ活用、脱炭素をはじめとしたSDGs対応等、新たな取組をけん引する副業人材と区内企業の連携を推進しました。</p> <p>○地域への貢献意欲と、地域に不足する知見や専門性を持つ副業人材とのネットワークを構築しました。</p> <p>○副業人材を活用して、商店街の遊休資産(アーケード・フラッグ等)の広告活用や区内中小製造業の強みである企画・提案力の価値化等、地域企業の稼ぐ力を強化するための実証を行いました。</p>			

【企業向けBCPの普及啓発】

○令和3年度に引き続き「大田区簡易版BCPシート」の配布を継続し、事業継続に対する事前対策の必要性の周知を行いました。

・区ホームページにおけるダウンロード数 災害編・感染症編 計3,122件

○事業連携・調査等

事業承継等情報交換会における中小企業診断士・区内金融機関等への事業紹介を行ったほか、羽田イノベーションシティで行われた金融機関主催（区後援）のレジリエンスセミナーにおいて簡易版BCPシートを配布する等、各支援先におけるBCP策定の必要性の周知並びに機運醸成を図りました。

また、区内中小企業のBCP策定等に係る現状把握のため、4～5月実施の区内景況調査において特別調査「中小企業における災害及び感染症等への取組状況（事業継続計画（BCP））について」を行いました。

所管部

産業経済部

8 経済活動支援策

決算額

1,710,496,334 円

執行率

94.19%

主要施策の成果（令和4年度の実績内容）

【中小企業等への支援】

○区内中小企業・小規模事業者からの申請を受け、融資あっせん（2,856件、計26,451,150,000円）を行いました。通常資金制度への移行に伴う激変緩和措置として、令和3年9月1日から開始した一般運転資金（利子補給加算）の令和4年度実績は、1,728件、17,318,900,000円です。

所管部

産業経済部

基本目標2	まちの魅力と産業が世界に向けて輝く都市
個別目標3	ものづくりから未来へ、独自の産業と都市文化を創造します
施策 2	大田区の魅力国内外にアピールします



1 シティプロモーションの推進

大田区シティプロモーション戦略及び同アクションプラン並びに大田区観光振興プラン2019-2023に基づき、積極的かつ効果的なシティプロモーションを展開します。

大田区の持つ多様な魅力や地域資源を総合的にPRすることで、大田区の認知度や区内回遊性の向上を図り、地域経済の活性化をもたらすことを目指します。また、区民がこれまで気付かなかった大田区の魅力を知り、このまちで暮らすことに誇りや愛着を持てるよう、情報発信手法を工夫しながら多様な取組を推進します。

決算額	20,034,462 円	執行率	89.40%
主要施策の成果（令和4年度の取組内容）			
【シティプロモーションの推進】			
<p>○大田区シティプロモーションサイト「Unique Ota」（36,741ビュー/月、令和4年度平均）及びSNSにおいて、年間12本の特集記事を掲載しました。特集記事のテーマは、大田区シティプロモーション戦略で定める区の魅力の8要素のうち、「食」分野で今までも人気があったグルメ関連記事に加え、区内で働く・クラブ活動を頑張る人等に注目するテーマや、夜景スポット・馬込文士村散策・大田市場等、産業・自然・文化等の様々な視点から区内回遊を促すテーマに設定しました。区の多様な魅力を区内外へ向けて発信しました。</p> <p>○隠れた地域資源の発掘や区の魅力発信に繋げるために、ツイッターを活用し、「あなただけの日の出&夕焼けのお気に入り写真を撮ってみよう」をテーマに、「#uniqueota フォトキャンペーン2022-23」を開催（12月26日～令和5年1月31日、写真投稿数235枚）しました。その結果、ツイッターのフォロワー数増（152人増）となりました。キャンペーン終了後も引き続き「#uniqueota」のハッシュタグを使用してSNS投稿を行い、自発的におおたの魅力を発信する方が増える等の効果が得られました。</p> <p>○大田区シティプロモーションサイト「Unique Ota」内のバーチャル美術館「UniqueOta Virtual Museum」郷土博物館展示室内に、川瀬巴水作品が写生帖から版画作品になるまでの動画を追加しました（令和5年3月24日公開～6月15日現在617ビュー）。また、令和5年度公開を目指して勝海舟記念館の建物・展示等を360°カメラを用いて撮影した「勝海舟記念館バーチャルツアー」を制作しました（令和5年6月公開）。</p> <p>○公民連携により区シティプロモーションを推進し、ブランドメッセージ、ロゴマークを積極的に活用しました。イトヨーカドー大森店と連携したラッピング自動販売機にシティプロモーションサイトへリンクする二次元コードを掲載し、自動販売機利用者が区の魅力に触れる機会を創出した他、京浜急行電鉄（株）・日本工学院が開催したイベントでは、イベント内ラジオ番組に区職員が出演し、区シティプロモーション事業をPRしました。この他、広聴広報課広報媒体への取材協力者にクリアファイル、ステッカー等を配布し、ブランドメッセージ及びロゴマークの認知向上を目指しました。</p>			
【メディアなどを活用した情報発信】			
○ケーブルテレビと広報番組「ユニークおおた」を制作し、区内銭湯や公園、人等、区の魅力を積極的に発信			

<p>しました(月2本、年間24本)。</p> <p>○大田区公式観光サイトと(一社)大田観光協会が運営するサイトの統合作業を進めました。</p> <p>○10月に(一社)大田観光協会の新サイト(統合サイト)が公開され、大田区公式観光サイトの運営を終了しました。</p>	
<p>【シビックプライド醸成に向けた取組】</p> <p>○上記までの取組の他、区職員が制作する区内お散歩記事の不定期連載を開始しました。分野にこだわらず、区内のスポットや見どころを紹介し、区の新たな魅力の発見を促しました(令和4年度は2本公開)。</p> <p>○おおたプライド事業「大田区学」</p> <p>おおた区報へ12回クイズを掲出したほか、郷土博物館や勝海舟記念館と協力し、区公式YouTubeチャンネルにミニミニ講座の動画を3回配信(総再生回数:2,175回/令和5年3月31日現在)し、それぞれの施設への回遊を促すとともに本事業の認知度向上に努めました。</p>	
<p>【大田区公式PRキャラクター「はねぴょん」の活用】</p> <p>○「ご当地キャラ成田詣〜なりた座〜」や「世界キャラクターさみっとin羽生2022」等の区外イベントへの参加及び「OTAふれあいフェスタ2022」をはじめとする区内イベントへの参加により、大田区のPRを行いました。15回のイベント出張を通して、大田区の魅力を区内外に発信し、認知度向上及び誘客を図りました。</p> <p>○はねぴょん公式Twitterでの積極的な情報発信により、フォロワー数が増加することで、はねぴょんファン並びに大田区ファンを増やすことに寄与しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フォロワー数:6,611人(令和5年3月31日現在) ・新規フォロワー数:2,041人 <p>○着ぐるみ貸出件数:105件</p> <p>○デザイン使用申請件数:569件</p> <p>○区内探訪「はねぴょんさんぽ」でホテルにスポットを当てた動画を制作し、区公式YouTubeチャンネル「大田区チャンネル」へ12月に配信しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総再生回数:1,702回(令和5年3月31日現在) 	
所管部	企画経営部、産業経済部

2 来訪者等受入環境整備



インバウンドに対応する環境整備から、区内及び近隣諸都市の住民を対象としたマイクロツーリズムに注力します。また、区内経済活性化に寄与する、MICE誘致の取組を推進します。

決算額	63,181,772 円	執行率	95.24%
主要施策の成果(令和4年度取組内容)			
<p>【ウェルカムショップ・まちかど観光案内所の統合運用】</p> <p>○店舗側からの登録希望のほか、区側からの営業活動により登録店舗・施設が拡充しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録件数:284件(令和5年3月31日現在) ・新規登録件数:10件 <p>○店舗にとっても来訪者にとっても分かりやすい制度設計とするため、「ウェルカムショップ」「まちかど観光案</p>			

内所」両事業の統合に向けた準備をしました。	
<p>【まちかど観光案内所の制度の推進】</p> <p>○店舗側からの登録希望のほか、区側からの営業活動により登録店舗・施設が拡充しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登録件数:382件(うち区施設72件/令和5年3月31日現在) ・新規登録件数:5件 <p>○店舗にとっても来訪者にとっても分かりやすい制度設計とするため、「ウェルカムショップ」「まちかど観光案内所」両事業の統合に向けた準備をしました。</p>	
<p>【大田区の観光拠点施設の運営】</p> <p>○大田区観光情報センター、羽田空港第3ターミナル大田区観光情報コーナー等において、観光情報の提供を行いました。</p> <p>○大田区観光情報センターの利用者は以下のとおりとなりました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者数:72,427人(うち外国人1,483人) ・観光相談件数:2,176件(うち外国人678件) ・文化体験利用者数:36人(令和5年2月より無料の体験を再開) <p>○大田区観光情報センターにおいて、地域の店舗の商品や大田区の友好都市の特産品の期間限定販売を行いました。</p> <p>○池上駅大田区観光情報コーナーにおいて、パンフレットの配架、イラストマップの展示、デジタルサイネージを通じて、大田区内の観光情報を発信し、認知度向上並びに誘客を図りました。</p>	
<p>【大田区観光案内サイン整備の推進】</p> <p>○観光案内サイン48基の盤面修正を行いました。</p>	
<p>【MICE誘致の取組】 みらい</p> <p>○有識者、観光・産業実務関連者により設置された大田区 MICE 誘致準備会を2回開催し(うちオンライン1回)、大田区 MICE 開催支援助成金の交付状況や次年度以降の MICE 事業の方向性等について意見聴収を行いました。</p> <p>○大田区MICE開催支援助成金を交付(4件)しました。</p> <p>○羽田イノベーションシティ内民間エリアの「医療技能訓練所」で開催される臨床工学技士研修生向け専用サイト「うえるかむ OTA」を、MICE 主催者・参加者双方に広く情報提供する「OTA MICE GUIDE」に機能拡充しました。</p> <p>○MICE誘致に係る知識等を習得するため、東京都・(公財)東京観光財団主催のMICEグローバル人材育成講座(基礎)に参加しました。</p> <p>○区がターゲットとする工学系学会に対しPRするため、国内95の工学系学会を含め計約110の団体が加盟する日本工学会年報に広告を掲出しました。</p>	
所管部	産業経済部

3 観光まちづくりの支援と多様な主体と連携したにぎわいの創出

空港・鉄道、観光関係団体・NPO、他自治体などとの連携・支援の推進により、地域の「にぎわい」を創出し、区内外からの来訪者誘致を図ります。

決算額	51,458,842円	執行率	92.42%
主要施策の成果（令和4年度の実施内容）			
<p>【観光まちづくり団体などへの支援】</p> <p>○（一社）大田観光協会が実施する「おおた商い・観光展」「おおたオープンファクトリー」等、観光まちづくりに資する事業への支援を行いました。</p>			
<p>【地域が主体となったにぎわい創出への支援】</p> <p>○勝海舟記念館、洗足池等の魅力ある文化や自然といった観光資源の認知度向上及び地域の回遊促進、経済活性化を目的として、令和3年度に引き続き大岡山～雪が谷大塚エリアの地域店舗（ラーメン店）を活用したスタンプラリーイベントを実施しました。</p>			
<p>【自治体間広域連携の推進（川崎市・品川区等）】</p> <p>○神奈川県と連携し、米国、中国及び台湾の個人旅行者をターゲットとしたWEBプロモーション（記事投稿）を行ったほか、台湾人インフルエンサーを活用し、YouTubeでの情報発信を行いました。</p> <p>○川崎市・品川区と連携し、台湾及びタイをターゲットとしたWEBプロモーション（記事投稿）を行ったほか、台湾及びタイ人インフルエンサーを活用し、YouTubeでの情報発信を行いました。</p> <p>○川崎市と連携し、11月に「大田・川崎 クラフトビールフェス」を実施しました。京急川崎駅及び京急蒲田駅の2駅でのマルシェ及びクラフトビール列車の運行を実施し、相互に連携した事業を通して、区内外からの誘客へ寄与することができました。</p> <p>○品川区と連携し、洗足池や旗の台等の観光スポットや参加店舗を紹介したマップパンフレットを制作しました。制作後は、マップを用いた商店街に散りばめられた文字探しイベントの開催や、参加店舗へのマップ提示による各店舗オリジナル特典の提供を行いました。</p>			
<p>【観光関連事業者・関係団体との連携】</p> <p>○区内観光関連事業者・関連機関との連携を図り、大田区の観光振興を推進することを目的とする大田区観光推進連絡協議会の開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止としました。</p> <p>○令和4年度大田区観光推進事業について、書面にて大田区観光推進連絡協議会委員へ報告しました。</p>			
所管部	産業経済部		